



OAセンターの中村忠能さん
(27歳)

障害者ならではの仕事ができ満足しています

高校時代からパソコンに興味を持つ

生まれつき視力が弱く、全盲に近かったため、高校まで佐賀の盲学校に通学していました。普通はそこから鍼灸の資格を取るのですが、パソコンが好きだったので、あえて筑波技術短期大学の情報処理科に進みました。まだWindowsの時代ではありませんでしたが、基礎的なプログラミングを勉強しました。

卒業のころはもうWindowsの時代になっており、プログラミングや情報関係で全盲の障害者が就職するのはなかなか厳しかったですね。結局、短大の先生の紹介で化成フロンティアに就職できたときは本当にうれしかったです。

就職したときの気持ちとしては、できれば障害者の特性を活かした仕事をしたいと思っていました。入社当時は会社も私もどのような仕事ができるのか模索中で、スキャナーで読み込んで入力するような仕事をしていく程度です。後は点字印刷関係、会社案内の点字版などをつくりました。

今後も意義のある仕事を続けていきたい

しばらくして、ホームページの制作に興味をもち、アクセシビリティの問題についても個人的に勉強するようになりました。そして、会社のホームページについて視覚障害者の立場からどうしたらアクセスしやすいか、意見を言うようになりました。また、月1回日曜日に開かれるパソコン・ボランティアという障害者のためのパソコン相談会に相談員として参加していましたが、その縁で、ある学校法人からの依頼でホームページ制作者を対象とした150ページを超える教育用テキストを制作することになり、もう完成間近です。大変意義のある仕事をしていて毎日が充実しています。

今後、公共関係、特に福祉関係の団体などから高齢者や障害者のアクセスしやすいホームページづくりの依頼があることを期待しています。また、パソコン・ボランティアでやっているような、障害者や高齢者を対象にした上手なパソコンの使い方などの教室やテキスト制作など、教育に関わる仕事をやってみたいとも思っています。

普通の仕事をしていては、どうしても目の見える人にかないませんので、障害者だからこそできる、このような仕事をぜひやっていきたいと考えています。



OAセンターの中村真規さん
(24歳)

使いやすいホームページの企画・制作を提案する仕事に挑戦したい

高校時代から急速に視力が衰退したため、筑波技術短期大学情報処理科に進み、障害者としての技術を活かしたいと考えるようになりました。

入社したのは中村忠能さんより3年後で、同じOAセンターに所属し、現在は一緒にホームページ制作者向けの教育用テキストを制作しています。完成後は、あらゆるホームページ制作者にとって使いやすいテキストとして活かされ、その結果、多くの障害者や高齢者がアクセスしやすいホームページが普及するようになれば、本当にうれしいですね。

そのほかには、点字名刺印刷や会社案内パンフレットの仕事などを行っています。

今後は、教育用テキスト制作の実績を活かして、よりウェブアクセシビリティのニーズが高い個人向けや鍼灸院・交通事業者向けに、誰もが利用しやすいホームページの企画・制作を提案するような仕事をしたいと考えています。

また、ホームページの制作（正しいHTMLやCSSの活用によるホームページづくりなど）やコンピュータ操作の基礎、点字などのテーマを中心に、大人数向けの講義、少人数指導、個人指導などを行う教育・研修の分野の仕事をしたと強く希望しています。できれば数ヵ月間、講師の卵として講習会に参加するなどの準備をしたいと考えています。

さらに、もともとの専門である交通学（交通バリアフリー）の分野に仕事の範囲を広げられないかとの夢も持っています。

社員への受け入れ教育

本人への教育研修

設備改善

支援機器導入

職域・能力開発

介助者

意欲・意識改善

障害者雇用の推進に尽力